

(別記)

設楽町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は多くが山林という地域であり、鳥獣被害が多くみられる。山林付近の水田では鳥獣害による緩衝地としての自己保全管理も多くある。高齢化も進み、担い手の不足など農地の維持が問題としてあげられる。農地集積を行うとともに担い手への支援、鳥獣害に強い作物への作物転換などを行う必要がある。

地域の作物としては、水稲が多くを占めている。他にも道の駅や直売所などに並ぶ地元野菜等が振興作物として地域の農家を支えている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底により米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ米の生産を行う。

(2) 非主食用米

加工用米

当該地域の加工用米は、地元酒造メーカーへの販売を中心に生産を行っており、加工用米の需要が高まってきていたが、近年は頭打ち状態である。

地元の実需者との結びつきを強化して今後は生産の拡大を図っていき、32年度は54haの生産を予定する。

(3) そば

そばは、地元の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

(4) 高収益作物（野菜等）

別紙明細の野菜、花き、果樹を振興品目とする。

高齢化が顕著な山間地域であり、大幅な面積増加は望めないが、水田活用のアピールを強化して、地域の活性化に繋げていく。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	223ha	223ha	223ha
加工用米	50ha	52ha	54ha
そば	1.5ha	1.5ha	1.5ha
その他地域振興作物	31.6ha	32.6ha	33.6ha
・野菜	30ha	31ha	32ha
・花き	1.3ha	1.3ha	1.3ha
・果樹	0.3ha	0.3ha	0.3ha

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				現状値	目標値
1	高収益作物 (野菜)	エコファーマーによる高収益作物(野菜)の取組に対する助成	取組面積	(29年度) 2.6ha	(32年度) 2.9ha
2	高収益作物 (野菜、花き、果樹)	高収益作物に対する助成	取組面積(野菜) (花き) (果樹) (計)	(29年度) 10.5ha 1.3ha 0.2ha 12ha	(32年度) 13.5ha 1.3ha 0.2ha 15ha
3	加工用米	加工用米(地域流通、チヨニシキ)に対する助成	作付面積	(29年度) 50ha	(32年度) 54ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり